



令和 2 年度
地域との協働による
高等学校教育改革推進事業
成果報告書



令和 3 年 3 月
鹿児島県教育委員会

目 次

刊行に当たって

I 令和2年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」実施要項・・・P 1

II 実施報告

1 実施校：鹿児島県立鶴翔高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

プ ラ ン	あくねの資源を生かした人づくり・まちづくりプロジェクト ～地域資源を活用でき持続可能なまちづくりに貢献できる人材育成～
概 要	専門学科の学びを活かしながら持続可能な社会の実現に向け、生徒が主体的・協働的に問題解決策を考え、行政等に企画提案することにより、地域産業の活性化を図り、地域資源の活用で持続可能なまちづくりに貢献できる人材を育成する。
協 働 先	スターゼンミートプロセッサー（株）、鹿児島大学農学部、マルイ農業協同組合、JA鹿児島いずみ、阿久根市農政課、まちの灯台阿久根、(株)下園薩男商店、鹿児島サンロイヤルホテル、福田農場、北薩地域振興局、道の駅阿久根、西田農園

2 実施校：鹿児島県立奄美高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 18

プ ラ ン	奄美高校レストランで島の未来づくりプロジェクト ～奄美の魅力を世界に発信～
概 要	全学科の専門性や特色を加えて、レストランを企画・運営することで、多様な価値観を有する人々への理解や協働力・実践力・企画力・調整力の育成及び「奄美の魅力を世界に発信できる」人材を育成し、地域振興の核としての高校の機能強化を図る。
協 働 先	奄美市商工観光部袖観光課、奄美市教育委員会、県立奄美図書館、あまみ大島観光物産連盟、本場奄美大島袖協働組合、特定非営利活動法人ディ、島のコタチ ART WORKS、(株)前川水産、レストラン プッセ、(株)グリーンテック、大島紬村、(株)ソレイユスマイル、平井果樹園、結人(株)、(有)田中印刷所

3 実施校：鹿児島県立徳之島高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 33

プ ラ ン	「島ぬ宝」育成プロジェクト in 徳之島 ～全島協働体制で育む、未来を切り拓く地域人材～
概 要	島内の2つの高校の地域課題を主題とした探究活動を、徳之島全島で組織されたコンソーシアムで支えることにより、地域と学校の間知の循環システムの構築を促し、課題解決へのチャレンジングマインドがある若者と地域の形成に資する。
協 働 先	学校法人時任学園樟南第二高等学校、鹿児島大学、三重大学、徳之島町・徳之島町教育委員会、伊仙町・伊仙町教育委員会、天城町・天城町教育委員会、徳之島町商工会、天城町商工会、地域おこし協力隊、(一社)いのかわラボ、徳之島遊学PROJECT、NPO法人徳之島虹の会、宮出珈琲園、伊仙町歴史民俗資料館、(株)モスク・クリエイション

刊行に当たって

IoTやロボティクス等の先端技術が高度化して、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど急激に変化する時代の中で、学校教育には、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められております。

このような中、県教委では、今年度から高校と市町村、高等教育機関、産業界等が協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを通して、地域創生につながる実践的な取組を行うことにより、将来の地域を支える専門的職業人や地域活力の向上に資する人材を育成する「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」を実施しています。

今年度は、文部科学省の審査において、事業特例校やアソシエイト校などの高い評価を受けた鶴翔高校、奄美高校、徳之島高校の3校を指定しました。

鶴翔高校では、農業科学科、食品技術科において、「あくねの資源を生かした人づくり・まちづくりプロジェクト」をテーマとして、専門学科の学びを生かしながら、鹿肉を利用した調味料の開発など、地域資源の有効的な利活用により持続可能なまちづくりに貢献できる人材の育成に取り組んでいただきました。

奄美高校では、商業科、家政科など全学科において「奄美高校レストランで島の未来づくりプロジェクト」をテーマとして、各学科の専門性や特色を生かしながらレストランの企画、運営や商品開発等を行うことで、実践力や企画力の醸成を図り、「奄美の魅力の世界に発信できる」人材の育成に取り組んでいただきました。

徳之島高校では、普通科、総合学科において、「『島ぬ宝』育成プロジェクト in 徳之島」をテーマとして、班別探究を行う「徳高ラボ」等の活動により地域課題の解決等、地域を題材とした取組を実践することで、新しい「徳之島」の魅力を再発見し、未来を切り拓く地域人材の育成に取り組んでいただきました。

本事業による地域や産業界との連携・協働による各学校の特色を生かした探究的な学びの実践は、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域振興の核としての高校の一層の機能強化を促進するために、今後ますます充実が図られる必要があると考えております。

最後に、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各学校においては行事の精選や感染防止に努めていただく中で、例年以上の御苦勞があったことと思います。本事業の実施に御協力いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、各学校において、地域と連携・協働した教育活動がより一層展開されることを祈念いたします。

令和3年3月

高校教育課長 堀之内 尚郎